

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム「樺(けやき)並木の家族」

作成日: 平成 23 年 11月 1日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	定例の訓練と夜間を想定した避難訓練を実施している。両隣の住民には、日頃から災害時の協力をお願いしており、職員は地域の訓練にも参加している。しかし地域住民の協力を得た避難訓練に至っていない。自治会との協力体制はこれからの課題である。	災害時の地域との合同避難訓練の実現	災害時の地域との協力体制の構築を練る。	1ヶ月
2	1	開設時、代表者が作成した「人間の尊厳を大切に家庭的な雰囲気を利用者の介護に当る」という理念は、会議等を通じて職員に周知させているが、どのように事業所でそれを具体的にしているかが明確でない。	理念を十分に理解し、理念に基づいた実践をする。	理念にもとづいて、具体的の方針をたて、その方針どおり実施できるよう職員に教育する。	3ヶ月
3	4	平日と土日に会議を交互に開催している。土日は家族のみ、平日は行政の参加のみ、地域住民は時々の参加にとどまっている。関係者相互の調整が付かず本来の会議になっていない。	義務付けられている構成員を含む関係者全員の参加による会議の実施。	平日に開催をし、行政にも必ず参加していただくように促す。	2ヶ月
4	5	行政担当者は時々事業所を訪問している。しかし、事業所の事務担当者は市担当者と接しているが、事務的な用件にとどまっている。管理者が直接出向いて情報交換等することはない。	管理者と市町村担当者との積極的な連携。	事前に行政担当者の訪問日の確認し、それまでに交換できる情報をまとめをおく。緊急に連絡・相談したいことがあれば随時直接出向く。管理者が出向きやすいシフトを作る。	2ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

